

令和6年度 山梨県 U14 地区育成センターの開催に向けて

2024.3 強化育成部会

はじめに（育成センターの目的）

公益財団法人日本バスケットボール協会（以下「JBA」）は世界に通用するバスケットボール環境構築のために「世界基準を日常に取り入れる」「世界を目指す環境整備」「一気通貫」という強化育成方針を示している。これに基づき、将来日本代表となる優秀な素質を持つ選手や可能性の高い選手に定期的に良い育成環境（練習環境・指導環境）を提供して個を大きく育てること、合わせて指導者の研鑽の場として指導者を養成することを設置の目的とする。その中で、JBA 都道府県 U12/U14/U16 育成センターガイドラインにおいて、U14 育成センターにおける「地区育成センター（以下「地区 DC」）」の実施が必須とされている。

そこで、JBA では、都道府県協会と協力して 2017 年から育成改革をはじめ、2018 年準備、2019 年実施の方向で進められてきた。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で様々な活動が滞っており、山梨県では 2022 年度より地区 DC の実施に向けて、地区割りや地区 DC 担当者一覧名簿の作成等を中心に体制づくりをスタートし、現在に至る。

また、山梨県では 2023 年度より、地区 DC/県 DC トライアウト参加資格「資質」の項目に「高身長育成選手」（下記参照）を設定し、高身長選手の発掘・育成・強化にも力を入れている。

	地区DC	都道府県DC	ブロック	ナショナルDC
U11	推奨	推奨	—	—
U12	◎	◎	●U12指導者講習	—
U13	推奨	推奨	●U15指導者講習	—
U14	◎	◎	■U14DC交流活動	◎
U15	推奨	推奨	—	◎※
U16	推奨	◎	—	—

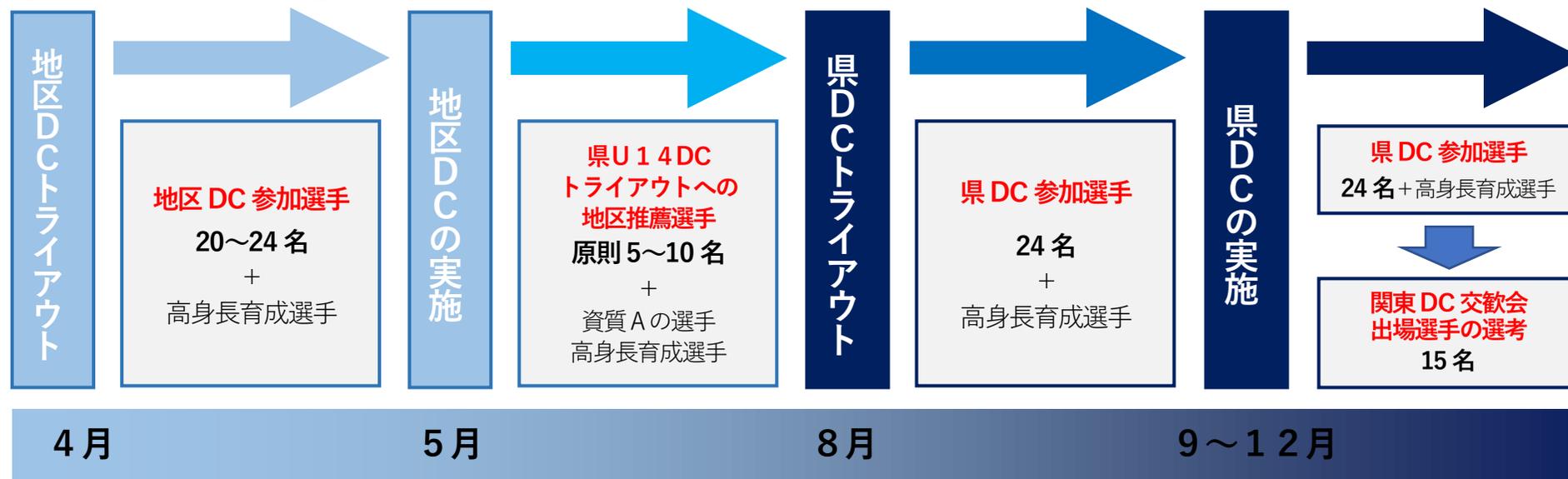
※JBA 都道府県 U12/U14/U16 育成センターガイドラインより

「高身長育成選手」の扱いについて

- 高身長育成選手とは、
男子 180cm 前後、女子 170cm 前後、
経験年数が浅く、育成を目的とした選手（他の資質とは別枠扱い）
- 高身長育成選手については、設定された選考人数とは別に数え、各種 DC の活動に参加することができる。
その際、練習内容等に配慮しながら活動していく。

今年度の活動について

【 活動の流れ（昨年度） 】



【 活動の流れ（今年度） 】



